



参加無料
 どなたでも
 入場OK

サンゴ礁 保全シンポジウム

—知る・共有する・発信する—

講演・ディスカッション

【第1部】

13:10

▼
 13:35

海ごみ最前線

～沖縄の漂着ごみの実態とサンゴ礁への影響～

鹿谷 麻夕 (しかたに自然案内)

13:35

▼
 14:00

南の島のミスワリン

～サンゴと人を結ぶ架け橋をめざして～

木寺 莉菜 (南の島のミスワリン三代目)

14:00

▼
 14:25

**沖縄美ら島財団における、
 サンゴ類保全活動**

野中 正法 (沖縄美ら島財団 総合研究センター)

【第2部】

14:35

▼
 15:25

**沖縄のサンゴ礁の現状と
 海外での保全策紹介**

中村 崇 (琉球大学 理学部海洋自然科学科 准教授)

15:30

▼
 16:20

さんご礁保全の未来とは

～科学データをどう活用するか?～

大久保 奈弥 (東京経済大学 准教授)

【第3部】

16:30-17:35 ディスカッション

●主催 | 一般財団法人 沖縄美ら島財団 ●共催 | 名城大学
 ●後援 | 沖縄県、沖縄県サンゴ礁保全推進協議会、日本サンゴ礁学会

2018年

12月6日[木]



13:00-18:00 (受付開始 12:00)

会場 | おきみゆー (沖縄県立博物館・美術館) 博物館 講座室

定員 | 100名 ※事前申込み制、先着順

お問合せ・お申し込み先

総合研究センター 普及開発課
 TEL: (0980) 48-2266

美ら島財団



<http://churashima.okinawa/>



沖縄県立博物館・美術館 MAP



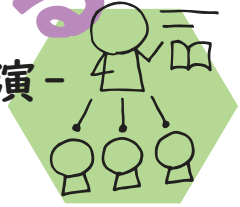
2018 1206

【第1部】
13:10 - 14:25

知る

【第2部】
14:35 - 16:20

- 講演 -



講師プロフィール

鹿谷 麻夕 (しかたに自然案内)

しかたに自然案内代表。沖縄で海の世界教育や保全活動を行う。近年は漂着ごみの問題に取り組む。

木寺 莉菜 (南の島のミスワリン三代目)

24歳、佐賀県出身。平成28年、3代目ミスワリンに選出され、かりゆしビーチを拠点にサンゴ保全活動を展開中。

野中 正法 (沖縄美ら島財団 総合研究センター)

沖縄美ら海水族館で28年間にわたり、サンゴ類を中心とした海洋生物の飼育、研究に携わってきた。宝石サンゴ類の分類学や生態学が専門。

中村 崇 (琉球大学 理学部海洋自然科学科 准教授)

環境ストレスに繰り返しさらされている沖縄をはじめとしたサンゴ礁域のサンゴやサンゴ群集が示す変動調査と実験等による研究を行っている。

大久保 奈弥 (東京経済大学 准教授)

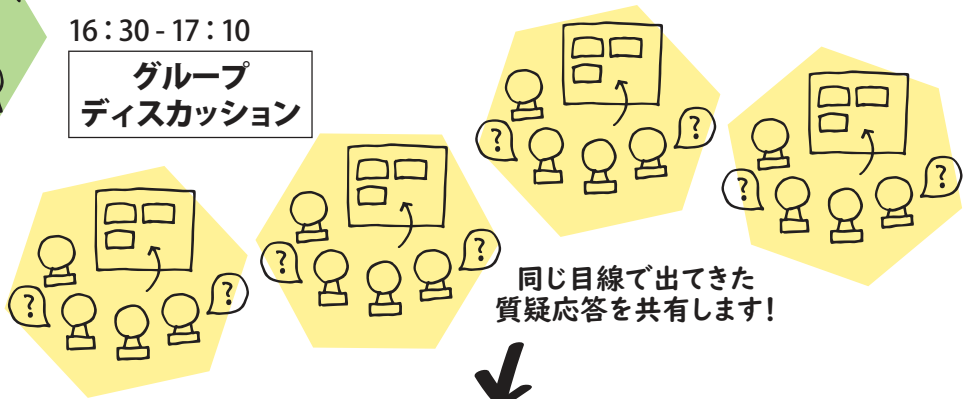
サンゴの発生様式が2つのグループに分かれることを発見し、それを分類形質に用いて新たな亜目を提唱したことで、ZS Awards、日本動物学会藤井賞受賞。最近ではマイクロプラスチックがサンゴと褐虫藻の共生を阻害することを発見し、マスメディアで多数報道される。

【第3部】 16:30 - 17:35
- ディスカッション -

共有する

16:30 - 17:10

グループ
ディスカッション



同じ目線に出てきた
質疑応答を共有します!

司会がアイデアを
まとめます

17:15 - 17:35

総合
ディスカッション



みんなで一緒に
解決策を考えよう!

まとめ

発信する

